

令和3年度 都城市立乙房小学校 学校評価

4段階評価【4・・・期待を上回る(100～90%達成) 3・・・概ね達成(90～70%達成) 2・・・期待を下回る(70～50%達成) 1・・・改善を要する(50%以下)】

本校の教育的課題		評価指標 (児童の意識・姿・態度)	自己評価	外部評価	学校関係者評価委員の意見	成果(○)及び次年度に向けた改善策(●)
【か】 学力の 学向ぶ 上子	主体的に学ぶ態度の育成	学習に対して前向きに取り組んでいるか。	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が分かるできる授業、個別指導を繰り返す学び方のコツを身に付ける等、先生方が授業を工夫され、タブレットPCの活用についてもよく指導していただき、全員真剣に取り組んでいるのが、よくわかります。 ○ 普段子供たちの様子を伺うことの少ない私たちにあって、学校運営協議会の度に授業参観をさせて頂くことで、先生方の取組や子供たちの様子がよく分かります。教室内外の整理整頓や掲示物等とても宜しいと思います。 ○ 保護者からの観点からですが、先生方の授業に様々な工夫がみられるのは良いことだと思います。ただ、そこに先生方の負担を感じることはないようにお願いします。先生方の健康第一です。 ○ 宿題等の出題の工夫等があると子ども達の意識も変わるかもしれない。 ○ パソコンは実社会に出れば多くの人が仕事のツールとして日常的に使うものであり、子供の内から基本身に付けることが大事である。1人一台のタブレットはありがたいです。 ○ タブレット使用頻度増が読書減に関わっているかもしれない。 ○ タブレット授業も時代の流れなのでしょうが、子どもにとって大切なアナログ的なことは残してほしいと切に願います。 ○ 本ももう少し読んでくれたら嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年度も、全職員が授業改善に取り組み、「分かる・できる・伸びる」が実感できるような授業の工夫を行ってきた。児童に行ったアンケートでは、授業に対する評価が3.6と高い数値を示していた。 ○ 本年度から全児童に1人1台のタブレットPCを配付し、授業で活用を図ってきた。児童に行ったアンケートでは、タブレットPを活用した授業に関する評価が3.8であり、とても高いことから、タブレットPCを操作し学習で活用できていると児童が実感していることが分かる。 ● 家庭学習については、児童はよく取り組んでいると自己評価しているが、保護者は取組が十分ではないと感じていると推測される。今後も児童に家庭学習の仕方を指導するとともに、家庭学習に関して保護者に説明し意見交換する機会が必要だと考える。 ● 読書については、本年度の図書室の貸出冊数など読書量が増加し、児童も読書に意欲的に取り組んでいると答えているが、保護者の評価が低いことから、家庭で読書をする姿があまり見られないと考えられる。家庭も含め、日常的な読書習慣の育成に取り組む必要がある。
	当該学年の学習内容の確実な定着	「分かる・できる・伸びる」授業を児童に実感できているか。 宿題等の家庭学習に確実に取り組んでいるか。				
	ICT活用能力の定着	タブレットPCを活用して学習することができたか。				
	読書活動の推進	読書量の増加、読書活動の意欲向上が図られたか。				
【や】 やさしく 豊かな 助成の 合醸成 子	基本的な生活習慣の定着	自分から気持ちのよい挨拶をしているか。 校外のきまりを守ろうとする態度が身に付いたか。	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日等で大きな声で気持ちの良い挨拶が最近ではよくできるようになったと思う。 ○ 親も子どもあいきつがたい。さびしいです。 ○ 挨拶はしないといけないものではなく、お互いに挨拶することは気持ちのいいものと感じてほしいです。させられている、と思っている子どもも多いと感じます。 ○ 決まりを守ることについて、チャイム時に黙想することが習慣になっているようですが、私は時間の無駄だと思えます。1回10秒として、一日に何回も、6年間とすると結構な時間になります。逆に集中力が途切れてしまいませんか？ ○ 自分や友達を大切にしている気持ちは、もっともって伸ばせたいですね。 ○ 誰とも仲良く過ごすという点については、大人でもなかなか出来ないことです。少々疑問を感じます。 ○ 勤労奉仕の気持ちは、子どもよりも親がもっと考えなければいけないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶については、地域の皆様から、本校児童は挨拶がよいとご意見をいただいている。挨拶をされて元気をもらっている等の地域からのご意見を児童に紹介し、進んで気持ちよい挨拶をするための意欲を高めたい。 ○ 望ましい人間関係の醸成について、児童は学級での活動や学校行事、委員会活動、クラブ活動等、学校生活の様々な場面を通して、よりよい関係づくりを学んでおり、同学年はもとより異学年でも仲良く過ごす姿が見られる。また、児童の悩みや困っていることについては、毎月実施している生活アンケートで学級担任が把握し、児童と教育相談を行っている。相談内容については、全職員で共有し、生徒指導主事等の職員と連携して適切に指導及び支援を行い、安心して学校生活が送れるよう尽力している。 ● 挨拶やきまりを守る態度、自他を大切にしている態度については、個人差も大きいので、その児童に合った指導を行い、小さな成長を認めることで、これからも実践しようとする態度を育てたい。
	望ましい人間関係の醸成	自分や友達のことを大切にし、誰とも仲良く過ごしているか。				
	勤労奉仕の精神の向上	自分から進んで家族や友達、学校、地域のためになることが行っているか。				
【た】 体力の まよなく 向上の く子	生活リズムの確立	早寝、早起き、朝ご飯が習慣化されたか。	3.1	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ マスクの着用等指導が良く行われていると思う。 ○ マスク着用をしていない児童を見かけない。大変いいことだと思う。 ○ マスク、消毒が本当に子どもの健全な発達に必要なと思われるか？遊びに行くなど、なぜ学校側がそこまで介入するのでしょうか。 ○ 体力向上に向けて、先生方も試行錯誤されていると思います。 ○ 外で遊ぶことが増えると変わってくるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活リズムの確立については、リズムが崩れやすい長期休業中も生活の記録用紙や振り回りカードの活用を図り、意識させることに取り組んだ。児童に「早寝、早起き、朝ご飯」についてアンケートを行った結果、90%以上の児童ができていてと答えていた。 ○ 新型コロナウイルス感染症への対応として、手指の消毒、マスクの着用について継続して指導を行った結果、定着が図られている。 ● 毎年実施している体力テストの結果をもとに、児童の体力向上に向けた取組を実施したことでボール投げなど県平均を上回っている種目もあるが、長座体前屈など今後も継続して指導を要する種目もある。毎回の体育の授業で、継続して取り組む必要がある。
	保健衛生習慣の定着と健康や安全に対する実践的な態度の育成	うがい、手洗い、マスク着用が徹底されたか。 日常生活において安全に行動する意識の高揚が図られたか。				
	基礎体力の向上	体力向上プランをもとに、体を動かした遊びや日常的な運動の推進が図られたか。				
心をふる愛る醸すさ成ると	ふるさと教育の推進	ふるさと乙房を知り、乙房から学ぶ教育活動を行うことできたか。	2.6	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの対応等がありますが、意識を持ち続けることが大事。 ○ 学校教育目標である「ふるさとを愛する児童の育成」について、今後も続けていきたいと思えます。 ○ 乙房奴踊りの発表を行う場がないためか、見る機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本年度より学校教育目標に「ふるさとを愛する児童の育成」を明確に位置付け、地域と連携した行事を実施する計画であったが、感染症への対応により実施できなかった。次年度以降も、地域との行事を教育課程に位置付けるとともに、地域人材を活用した学習を各学年で計画し実施したい。

本校の取組		評価指標 (本校の実態)	自己評価	外部評価	学校関係者評価委員の意見	成果(○)及び次年度に向けた改善策(●)
学地域づくりに信頼のさ強れる	学校の情報発信	学校だよりや学校ホームページで子ども達の良さを発信できたか。	3.2	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の先生方も忙しいなか色々とがんばっていると思います。共になんかがんばっていきましょう。 ○ 「乙房通信」いつもありがとうございます。学校内のこともよくわかります。いろんなことでなんでも協力したいとつくづく思っております。 ○ ホームページも同じです。もっと、他に何かないか。 ○ 学校評価に関することに限らず、もっと幅広い分野での活発な意見交換があっても宜しいかと思えます。回数や短い時間の中での意見交換といっても限度があるでしょうが、不登校や非協力的な保護者の問題、地域の中の危険箇所は是正等、学校が抱えている悩みや課題は少なくないと思えます。意見交換の中で何らかのヒントや解決策が少しでも引き出せたら幸いに思えます。 ○ あと1ヶ月余りで乙房インターが開通します。今でも交通量の多い地域ですが、開通後はかなりの増加が予想されます。通学路周辺の横断歩道等の消えかかった白線の補修等交通事故防止に関する要望など積極的にされるようお願いします。学校側の発信や体制作りは、とても頑張っていると思います。 ○ 地域との関わりも大切ですが、「地域に良く見られたい学校」ではなく、子どもが本当の意味で学べる学校であることを願います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に発行している学校だよりや学校ホームページによって、地域の方々には学校の様子を伝えることができた。 ● 保護者や地域からのご意見や相談に誠意をもって対応することは、全職員で共通理解し、今後とも取り組んでいきたい。
	連絡体制の状況	学校との連絡は取りやすいか。				
	相談体制(保護者)	保護者からの相談に適切に対応できているか。				
	相談体制(地域)	地域からの相談に適切に対応できているか。				
	児童の安全に関する連携	学校・家庭・地域が連携して児童の安全を守っているか。				